

平成12年3月期

中間連結決算短信

平成11年11月17日

上場会社名 株式会社 クラレ 上場取引所(所属部) (東証・大証第一部他)
 コード番号 3405
 本社所在地 大阪市北区梅田1丁目12番39号
 問合せ先 責任者役職名 IR室長, 広報部長
 氏名 久次米 忠彦, 畑 拓夫 TEL (06)6348-2065,2259
 中間連結決算取締役会開催日 平成11年11月17日

1. 11年9月中間期の業績(平成11年4月1日~平成11年9月30日)

(1) 経営成績 (注)金額表示は百万円未満切捨による。

	売上高(対前年中間期増減率)	営業利益(対前年中間期増減率)	経常利益(対前年中間期増減率)
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
11年9月中間期	155,080 (4.5)	10,026 (30.2)	10,745 (23.7)
10年9月中間期	162,332	14,373	14,074
11年3月期	336,465	27,148	27,437

	中間(当期)純利益(対前年中間期増減率)	1株当たり 中間(当期)純利益
	百万円 %	円 銭
11年9月中間期	6,628 (5.6)	18 09
10年9月中間期	6,279	17 72
11年3月期	13,171	36 83

(注)持分法投資損益 11年9月中間期 50百万円 10年9月中間期 24百万円
 11年3月期 6百万円

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
11年9月中間期	499,995	271,990	54.4	735 63
10年9月中間期	495,933	238,351	48.1	672 30
11年3月期	487,990	259,908	53.3	714 21

(3) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 40社
 非連結子会社数 13社(うち持分法適用会社数 13社)
 関連会社数 24社(うち持分法適用会社数 4社)

(4) 会計処理の方法等の変更

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結 (新規) 11社 持分法 (新規) 13社
 (除外) なし (除外) なし

会計処理の方法の変更 無

11年9月中間期及び11年3月期については、税効果会計を適用している。

2. 12年3月期の業績予想(平成11年4月1日~平成12年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
12年3月期	330,000	24,000	14,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(連結) 37円86銭 (単独) 33円81銭

[参考]当社(単独)の11年9月中間期の業績(平成11年4月1日~平成11年9月30日)

売上高(対前年中間期増減率)	営業利益(対前年中間期増減率)	経常利益(対前年中間期増減率)
百万円 %	百万円 %	百万円 %
123,917 (6.0)	7,840 (21.7)	9,484 (12.5)

中間純利益(対前年中間期増減率)	1株当たり 中間純利益	総資産	株主資本
百万円 %	円 銭	百万円	百万円
5,906 (34.9)	16 12	437,917	262,088

経営成績

当中間期の概況

国内景気の回復の足取りが遅い上、急激な為替円高が加わり、当社グループを取り巻く環境も厳しい状況が続きました。そのような状況下ではありますが、当社グループは当上半期も拡販とコストダウンにより収益の落ち込みを最小限にすることに努めました。

< 繊維 >

繊維事業を取り巻く環境は、個人消費の不振や民間設備投資の冷え込みなどの影響により、全分野に亘り厳しい状況が続きました。こうした中で当社グループは引き続き高付加価値商品の拡販とコスト合理化に努めました。

ビニロンは昨年より稼働を開始した「クラロンK - 」を含め、堅調に推移しましたが、ポリエステルは独自高付加価値素材への特化を推進する一方で不採算分野からの撤退などを行ったため、減収となりました。またレーヨンは輸内とも需要停滞の影響を受け減収となったため、売上高は前年同期比 3,493 百万円 (6.8%) 減の 48,102 百万円となりました。

< 化学関連事業 >

化学品業界全体も、国内での需要の停滞及び競合激化、海外にあっては東南アジア諸国の経済停滞など引続き厳しい状況が続きましたが、拡販とコスト削減により収益の確保に努めました。

化学品では、基幹素材であるポバール事業は安全ガラス用中間膜(ポバール樹脂)、液晶表示装置(ビニロンフィルム)分野の拡大や、シンガポールでの新工場が当上半期より順調に稼働を始め、また「エバール」事業も環境志向の高まりにより国内全般需要が伸び、ベルギーでは新工場が当上半期に立上ると共に、米国も数量・現地通貨建の売上高では拡大しており、いずれも順調に推移しました。両事業とも海外に新工場を加えたことで、世界No.1メーカーとしての地歩を一層固めました。熱可塑性エラストマーは当上半期に鹿島工場での増設を完了し、設備もスムーズに立上っており順調に拡大しましたが、汎用化学品などで競争激化の影響を受け減収を余儀なくされ、更には円高による海外子会社の換算影響などが加わったため、売上高は前年同期比 1,336 百万円 (1.8%) 減の 71,427 百万円となりました。

人工皮革等は、「クラリーノ」事業は前期まで好調に推移していた欧州向け衣料用スエード需要が流通段階での在庫調整や為替の影響を受け、米国などで堅調に推移したにもかかわらず、また「クラフレックス」も衛生材料分野での競争激化により両事業とも減収となり、売上高は1,652百万円(9.0%)減の16,746百万円となりました。

メディカル・その他では、メディカル事業で若干の減収となったことに加え、消費低迷の影響や設備投資の不振を受け、LDや膜事業等で減収となり、エンジニアリング事業やコンサルティング事業(ISO取得他)などが健闘しましたが、売上高は768百万円(3.9%)減の18,803百万円となりました。

これらの結果、化学関連事業の売上げは3,757百万円(3.4%)減の106,977百万円となりました。

当年度の見通し

事業環境は下半期中も引き続き厳しい状況が続くと見られます。当社及びグループ各社は引き続き拡販と値上げ、コストダウンによる収益の確保に努めるとともに、当上半期に立ち上がった海外2工場の事業基盤をより強固なものにし、年間の売上高は3,300億円、経常利益は240億円、当期純利益は140億円の確保に努める所存です。

中間連結損益及び剰余金結合計算書

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (11.4.1～11.9.30)	前年中間期 (10.4.1～10.9.30)	増 減	前 期 (10.4.1～11.3.31)
売 上 高	155,080	162,332	7,251	336,465
売 上 原 価	114,608	117,762	3,154	250,194
売上総利益	40,472	44,569	4,096	86,271
販管費及び一般管理費	30,446	30,195	250	59,123
営業利益	10,026	14,373	4,347	27,148
営業外収益				
受取利息及び配当金	2,016	2,213	197	4,464
持分法による投資利益	50	24	26	6
その他雑収益	1,169	709	460	1,539
営業外収益計	3,236	2,947	289	6,009
営業外費用				
支払利息	1,404	1,716	311	3,269
その他雑損失	1,112	1,529	417	2,451
営業外費用計	2,517	3,246	728	5,720
経常利益	10,745	14,074	3,329	27,437
特別利益				
固定資産売却益	-	1,053	1,053	1,512
投資有価証券売却益	448	-	448	-
その他特別利益	581	-	581	-
特別利益計	1,029	1,053	24	1,512
特別損失				
退職給付関連費用	-	2,417	2,417	2,749
新規事業開始に伴う臨時費用	-	649	649	909
体質改善特別損失	-	-	-	1,068
事務所移転費用	-	-	-	251
投資有価証券評価損失	-	-	-	130
特別損失計	-	3,066	3,066	5,108
税金等調整前中間(当期)純利益	11,775	12,061	286	23,840
法人税、住民税及び事業税	5,218	5,776	558	10,351
法人税等調整額	72	-	72	309
法人税等計	5,146	5,776	630	10,660
少数株主利益	0	5	5	9
中間(当期)純利益	6,628	6,279	349	13,171

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (11.4.1～11.9.30)	前年中間期 (10.4.1～10.9.30)	増 減	前 期 (10.4.1～11.3.31)
連結剰余金期首残高	107,029	91,876	15,152	91,876
連結子会社・持分法適用会社 増加による剰余金増加	33	-	33	-
過年度税効果調整額	-	-	-	6,069
連結剰余金増加高計	33	-	33	6,069
配 当 金	1,637	1,594	43	3,189
役 員 賞 与	62	72	9	72
連結子会社・持分法適用会社 増加による剰余金減少	-	-	-	825
連結剰余金減少高計	1,700	1,666	33	4,087
連結剰余金期末残高	111,991	96,488	15,502	107,029

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部				
科 目	当 中 間 期 (11.9.30 現在)	前 期 (11.3.31 現在)	増 減	前 年 中 間 期 (10.9.30 現在)
(資 産)				
<u>流動資産</u>	<u>216,531</u>	<u>208,113</u>	<u>8,418</u>	<u>238,175</u>
現金及び預金	26,893	28,901	2,008	49,315
受取手形及び売掛金	88,407	90,582	2,175	91,755
有価証券	21,426	10,252	11,173	11,854
たな卸資産	71,650	70,624	1,026	82,541
繰延税金資産	3,877	3,603	273	-
その他	4,977	4,993	15	3,702
貸倒引当金	701	844	143	992
<u>固定資産</u>	<u>277,398</u>	<u>277,921</u>	<u>523</u>	<u>256,877</u>
1. <u>有形固定資産</u>	<u>132,198</u>	<u>129,025</u>	<u>3,173</u>	<u>119,404</u>
建物及び構築物	35,074	29,522	5,551	28,293
機械装置及び運搬具	64,462	54,624	9,838	54,081
土地	25,362	25,396	34	25,001
建設仮勘定	5,107	17,255	12,148	9,698
その他	2,192	2,226	34	2,330
2. <u>無形固定資産</u>	<u>662</u>	<u>467</u>	<u>195</u>	<u>515</u>
その他	662	467	195	515
3. <u>投資その他の資産</u>	<u>144,536</u>	<u>148,428</u>	<u>3,892</u>	<u>136,956</u>
投資有価証券	70,313	79,209	8,896	72,410
長期貸付金	6,875	7,369	493	6,704
年金保険積立金	58,862	52,930	5,931	52,533
繰延税金資産	3,219	3,148	70	-
その他	6,613	6,978	365	6,042
貸倒引当金	939	876	62	420
株式評価性引当金	408	331	77	313
<u>繰延資産</u>	<u>109</u>	<u>439</u>	<u>329</u>	<u>880</u>
社債発行差金	109	439	329	880
<u>為替換算調整勘定</u>	<u>5,956</u>	<u>1,517</u>	<u>4,438</u>	-
資産合計	499,995	487,990	12,004	495,933

(単位：百万円)

負債、少数株主持分及び資本の部				
科 目	当中間期 (11.9.30現在)	前 期 (11.3.31現在)	増 減	前年中間期 (10.9.30現在)
(負 債)				
<u>流動負債</u>	<u>106,186</u>	<u>108,260</u>	<u>2,074</u>	<u>126,240</u>
支払手形及び買掛金	53,922	54,123	201	57,303
短期借入金	6,935	9,080	2,144	10,800
新株引受権付社債 (償還1年以内)	17,110	17,110	-	8,545
未払費用	10,702	10,738	35	12,387
未払法人税等	5,041	4,305	736	5,483
繰延税金負債	23	-	23	-
債務保証損失引当金	396	396	-	396
その他の引当金	73	66	6	47
そ の 他	11,980	12,439	459	31,276
<u>固定負債</u>	<u>121,454</u>	<u>119,451</u>	<u>2,003</u>	<u>128,709</u>
社 債	38,500	38,500	-	38,500
新株引受権付社債	-	-	-	17,110
転換社債	38,281	38,481	200	38,481
長期借入金	18,099	16,941	1,157	9,216
繰延税金負債	2,871	2,866	4	-
退職給与引当金	12,714	12,684	29	11,966
債務保証損失引当金	-	-	-	396
そ の 他	10,988	9,977	1,010	13,037
<u>為替換算調整勘定</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>2,258</u>
負債合計	227,640	227,712	71	257,208
少数株主持分	364	370	5	373
少数株主持分	364	370	5	373
(資 本)				
資 本 金	81,823	78,659	3,164	73,800
資本準備金	78,179	74,224	3,955	68,063
連結剰余金	111,991	107,029	4,961	96,488
	271,994	259,912	12,081	238,352
自己株式	4	4	0	1
資本合計	271,990	259,908	12,081	238,351
負債、少数株主持分及び資本合計	499,995	487,990	12,004	495,933

注 記 事 項

	当中間期	前 期	前年中間期
1. 受取手形割引高及び裏書手形譲渡高	11 百万円	13 百万円	11 百万円
2. 有形固定資産減価償却累計額	331,977 百万円	325,526 百万円	323,394 百万円
3. 保証債務	899 百万円	920 百万円	9,388 百万円

追 加 情 報

1. 中間連結財務諸表規則に基づき、当中間期より税効果会計を適用している。
2. 前年中間期まで投資その他の資産の「その他」に計上していたソフトウェア（当中間期 239 百万円）については、当中間期より無形固定資産の「その他」に計上している。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(1) 当中間期(平成11年4月1日~平成11年9月30日)

(単位:百万円)

	繊維	化学品	人工皮革等	メディカル ・その他	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益 売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,102	71,427	16,746	18,803	155,080		155,080
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	920	845	177	10,842	12,785	(12,785)	
計	49,023	72,272	16,924	29,645	167,866	(12,785)	155,080
営業費用	47,833	65,757	15,796	28,144	157,532	(12,477)	145,054
営業利益	1,189	6,515	1,128	1,500	10,333	(307)	10,026
2. 資産、減価償却費、 及び資本的支出							
資産	76,673	148,793	36,589	59,212	321,269	178,726	499,995
減価償却費	1,646	4,285	1,219	620	7,771		7,771
資本的支出	1,443	6,292	743	4,657	13,136		13,136

(2) 前年中間期(平成10年4月1日~平成10年9月30日)

(単位:百万円)

	繊維	化学品	人工皮革等	メディカル ・その他	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益 売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,596	72,763	18,399	19,572	162,332		162,332
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	755	711	282	8,016	9,766	(9,766)	
計	52,352	73,475	18,682	27,588	172,098	(9,766)	162,332
営業費用	51,021	64,661	15,911	26,038	157,634	(9,675)	147,958
営業利益	1,330	8,813	2,770	1,550	14,464	(90)	14,373
2. 資産、減価償却費、 及び資本的支出							
資産	83,397	135,746	35,643	60,432	315,220	180,712	495,933
減価償却費	1,869	3,962	926	611	7,369		7,369
資本的支出	2,136	5,713	2,872	1,602	12,324		12,324

(注) 1. 事業区分は売上高計上区分によっています。

2. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、当中間期 181,033 百万円、前年中間期 182,849 百万円であり、その主なものは、親会社の余資運用資金、長期投資資金に係わる資産等であります。